

# 雲南市スポーツ協会

## これまでのあゆみ

本協会は平成17年の4月、旧6町村の合併を契機に設立。市民の健康増進とスポーツの普及・振興、競技力向上、そして生涯スポーツを推進している。

設立以降、本市の理念は初代会長である佐藤嘉夫氏から始まり、現在第6代渡辺重光会長へ受け継がれている。令和5年度は、島根県のスポーツという文化を後生に継承していく概念からのスポーツ協会名称変更を受け、「雲南市体育協会」から「雲南市スポーツ協会」へと改称した。

## 現在の状況

雲南市スポーツ協会は、現在6支部の組織と専門競技部14団体で構成されている。市内の体育施設や多目的広場を活用し、交流事業を企画運営、競技力向上と普及、生涯スポーツを含めたスポーツ全般の振興に努めている。また長年各地区で開かれている地区民運動会は歴史ある大きなイベントの一つである。しかしながら、コロナ禍において縮小せざるを得ない中、廃止または中止となる行事も少なからず見受けられる。今一度、啓発と広報、スポーツ活動に対する理解促進に重きを置き活動を進める。



雲南市スポーツ協会功労者表彰式

## これから

2030年に開催される島根かみあり国スポ・全スポに向けて気運醸成と本市が開催地となるソフトボール、レスリング、ローイングの競技拡大に向け、関係機関の指導のもと、協力体制を構築する。

また、学校部活動の地域移行に向けた動きにも注視し、外部指導者を含め、直接子ども達と関わる指導者の確保と育成など、仕組みづくりや制度設計は急務であると考ええる。

引き続き、地域におけるスポーツ協会の役割と使命を考え、心身ともにエネルギーあふれる雲南市のために一助を担いたい。



運動部活動の地域移行に向けた取り組み（ソフトボール合同練習会）



雲南市スポーツ協会卓球専門部による交流大会